

2024年2月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

2023年10月16日

上場会社名 株式会社BeeX

上場取引所

東

コード番号 4270 U

URL https://www.beex-inc.com/

(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 広木 太

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理財務本部長 (氏名) 杉山 裕二 TEL 03-6260-6240

四半期報告書提出予定日 2023年10月16日

配当支払開始予定日

代表者

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	与	営業利	J益	経常利	益	四半期紅	i利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,586	36.2	319	37.3	330	43.9	227	44.1
2023年2月期第2四半期	2,633		232		229		157	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	102.30	90.58
2023年2月期第2四半期	71.20	63.30

⁽注)当社は、2022年2月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年2月期第2四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,565	1,876	52.6
2023年2月期	3,329	1,649	49.5

(参考)自己資本 2024年2月期第2四半期 1,876百万円 2023年2月期 1,649百万円

2. 配当の状況

2. 10 3 07 1八 // 1					
			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年2月期		0.00		0.00	0.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年 2月期の業績予想(2023年 3月 1日~2024年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	ii益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,910	20.0	427	6.0		3.9	311	4.0	140.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧下さい。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2024年2月期2Q	2,224,600 株	2023年2月期	2,224,600 株
2024年2月期2Q	3,000 株	2023年2月期	3,000 株
2024年2月期2Q	2,221,600 株	2023年2月期2Q	2,214,674 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その 達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。

上記の予想に関する事項は、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1)四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4)四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年3月1日~2023年8月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響を受けながらも徐々に経済社会活動の制限が緩和され、景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、国内における新型コロナウイルス感染症第9波による感染者数の急増、世界的な金融引締めが続く中で海外景気の下振れが国内景気の下押しリスクとなっております。加えて、物価の上昇や金融資本市場の変動等も注視する必要があり、先行きは不透明な状況が続いています。

情報サービス産業においては、昨年からのテレワーク環境の整備・強化に向けた需要が一巡した一方、業績悪化を理由に抑制が続いていた企業のICT投資が再開され、特に事業の強化や変革を推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)関連の需要が増加しております。

このような状況下、当社では「デジタルトランスフォーメーション」及び「マルチクラウド」という2つの領域を軸にクラウドソリューション事業を展開しており、SAP社が提供する基幹システムを中心に、顧客企業毎に使用している基幹システムに最適なパブリッククラウドの選定、基幹システムをパブリッククラウド上で最適な状態で利用するためのコンサルティング、クラウド環境の設計・構築、クラウド環境への移行、及びクラウド環境での運用業務の提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高3,586,775千円(前年同四半期比36.2%増)、営業利益319,631千円(前年同四半期比37.3%増)、経常利益330,433千円(前年同四半期比43.9%増)、四半期純利益227,267千円(前年同四半期比44.1%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績の詳細は次のとおりであります。

なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

(売上高)

当第2四半期累計期間におけるクラウドインテグレーション売上高は1,084,817千円(前年同四半期比43.7%増)、MSP売上高は368,301千円(前年同四半期比14.6%増)、クラウドライセンスリセール売上高は2,133,655千円(前年同四半期比37.0%増)となりました。

これは、クラウドインテグレーションにおいては、既存顧客からの追加案件の受注及び新規顧客の獲得もあってプロジェクト数が順調に積み上がったことによるものであり、MSP及びクラウドライセンスリセールにおいては、新規顧客の獲得もあって取引社数が堅調に推移したことによるものであります。

(売上原価、売上総利益)

当第2四半期累計期間における売上原価は、2,847,856千円(前年同四半期比35.3%増)となりました。

主な内容としては、クラウドインテグレーション売上に係る社内リソースでカバーできない工数を外部の開発リソースで補完したことにより業務委託費を計上し、クラウドライセンスリセール売上に伴うAWS及びAzure等のライセンスの仕入高を計上しております。また、製造部門の採用が順調に進捗したこともあり労務費を計上しております。自社開発資産「BeeX Service Console」(ソフトウエア)の減価償却費を計上しております。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第2四半期累計期間における販売費及び一般管理費は、419,286千円(前年同四半期比42.0%増)となりました。 主な内容としては、給料手当等の人件費を計上し、マーケティング施策による広告宣伝費を計上した他、採用費、 地代家賃、業務委託費等を計上しております。

(営業外損益、経常利益)

当第2四半期累計期間における営業外収益は11,185千円(前年同四半期比429.2%増)となりました。主な内容としては、受取手数料を計上したこと等によるものであります。

また、営業外費用は384千円(前年同四半期比92.6%減)となりました。内容としては、支払利息、為替差損を計上したことによるものであります。

(特別損益、四半期純利益)

当第2四半期累計期間における特別利益及び特別損失の計上はありませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、3,565,214千円となり、前事業年度末から235,789千円の増加となりました。

当第2四半期会計期間末における流動資産は、3,267,340千円となり、前事業年度末から227,940千円の増加となりました。これは主に、売掛金の回収により現金及び預金が148,113千円、クラウドインテグレーション案件の増加により売掛金が177,071千円、契約資産が27,050千円増加した一方で、AWSのリザーブドインスタンス(契約期間1年間、3年間)及びSavings Plans(契約期間1年間)の消費に伴い前払費用が124,343千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末における固定資産は、297,874千円となり、前事業年度末から7,849千円の増加となりました。これは主に、業務用PCの購入等により有形固定資産が7,812千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,688,847千円となり、前事業年度末から8,522千円の増加となりました。

当第2四半期会計期間末における流動負債は、1,688,847千円となり、前事業年度末から8,522千円の増加となりました。これは主に、ライセンス仕入高が増加したことにより買掛金が105,148千円、賞与引当金が32,093千円、未払法人税等が6,480千円増加した一方で、契約負債が88,202千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、1,876,367千円となり、前事業年度末から227,267千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が227,267千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ148,113千円増加し、1,311,255千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は183,908千円(前年同期は318,835千円の獲得)となりました。これは主に、増加要因として、税引前四半期純利益の計上330,433千円、AWSのリザーブドインスタンス(契約期間1年間、3年間)及びSavings Plans(契約期間1年間)の利用等に伴う前払費用の減少額125,123千円、クラウドライセンスリセールに係る仕入高が増加したことによる仕入債務の増加額103,085千円等があった一方で、減少要因として、クラウドソリューション事業の売上高が増加したことによる売上債権及び契約資産の増加額204,121千円、契約負債の減少額88,202千円、未払金の減少額68,600千円、法人税等の支払95,088千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は35,794千円(前年同期は27,211千円の支出)となりました。これは主に、業務用PCの購入等により有形固定資産の取得による支出17,860千円、自社開発のクラウド運用サービスツール「BSC: BeeX Service Console」の追加機能開発等により無形固定資産の取得による支出17,933千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金の増減額はありません(前年同期は136,605千円の支出)。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年 2 月期の業績予想につきましては、2023年 4 月 14 日 に発表いたしました2024年 2 月期の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:千円)
	前事業年度 (2023年 2 月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 163, 141	1, 311, 255
売掛金	1, 075, 784	1, 252, 855
契約資産	255, 429	282, 480
前払費用	545, 044	420, 701
その他		47
流動資産合計	3, 039, 400	3, 267, 340
固定資産		
有形固定資産	53, 147	60, 959
無形固定資産	122, 398	122, 935
投資その他の資産	114, 478	113, 978
固定資産合計	290, 024	297, 874
資産合計	3, 329, 424	3, 565, 214
負債の部		
流動負債		
買掛金	761, 104	866, 252
短期借入金	200, 000	200, 000
未払法人税等	108, 474	114, 954
契約負債	406, 999	318, 796
賞与引当金	_	32, 093
受注損失引当金	3, 954	395
その他	199, 792	156, 354
流動負債合計	1, 680, 324	1, 688, 847
負債合計	1, 680, 324	1, 688, 847
純資産の部		
株主資本		
資本金	321, 089	321, 089
資本剰余金	386, 213	386, 213
利益剰余金	944, 435	1, 171, 703
自己株式	△2, 638	△2,638
株主資本合計	1, 649, 099	1, 876, 367
純資産合計	1, 649, 099	1, 876, 367
負債純資産合計	3, 329, 424	3, 565, 214

(2)四半期損益計算書 (第2四半期累計期間)

(単位:千円)

		(十四:111)
	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	2, 633, 369	3, 586, 775
売上原価	2, 105, 250	2, 847, 856
売上総利益	528, 119	738, 918
販売費及び一般管理費	295, 308	419, 286
営業利益	232, 810	319, 631
営業外収益		
受取利息	5	6
受取手数料	2, 108	11, 163
雑収入	_	15
営業外収益合計	2, 113	11, 185
営業外費用		
支払利息	387	315
為替差損	4, 839	69
営業外費用合計	5, 227	384
経常利益	229, 696	330, 433
税引前四半期純利益	229, 696	330, 433
法人税等	72, 007	103, 165
四半期純利益	157, 689	227, 267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

減価償却費 20,502 賞与引当金の増減額 (△は減少) 25,214 受注損失引当金の増減額 (△は減少) - 25 受取利息及び受取配当金 △5 支払利息 387 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) △197,774 △2 前払費用の増減額 (△は増加) 144,391 140,365 140,36	330, 433 26, 676 32, 093 △3, 559 △6 315 304, 121 25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 88, 202
減価償却費 20,502 賞与引当金の増減額 (△は減少) 25,214 受注損失引当金の増減額 (△は減少) -	26, 676 32, 093 △3, 559 △6 315 304, 121 25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 — 88, 202
賞与引当金の増減額(△は減少) 25,214 受注損失引当金の増減額(△は減少) - 受取利息及び受取配当金 △5 支払利息 387 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) △197,774 △2 前払費用の増減額(△は増加) 144,391 ・ 仕入債務の増減額(△は減少) △39,158 △ 未払金の増減額(△は減少) △9,040 ・ 前受金の増減額(△は減少) △313,262 ・ 契約負債の増減額(△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	32, 093 △3, 559 △6 315 204, 121 25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 — 88, 202
受注損失引当金の増減額(△は減少) -	$\triangle 3,559$ $\triangle 6$ 315 $04,121$ $25,123$ $03,085$ $68,600$ $18,862$ $ 88,202$
受取利息及び受取配当金 △5 支払利息 387 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) △197,774 △3 前払費用の増減額(△は増加) 144,391 □ 仕入債務の増減額(△は減少) 140,365 □ 未払金の増減額(△は減少) △39,158 △ 未払消費税等の増減額(△は減少) △9,040 ○ 前受金の増減額(△は減少) △313,262 ○ 契約負債の増減額(△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 ② 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	$\triangle 6$ 315 204, 121 25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 - 88, 202
支払利息 387 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) △197,774 △2 前払費用の増減額(△は増加) 144,391 1 仕入債務の増減額(△は減少) 140,365 二 未払金の増減額(△は減少) △39,158 △ 未払消費税等の増減額(△は減少) △313,262 契約負債の増減額(△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	315 204, 121 25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 - 88, 202
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	204, 121 25, 123 03, 085 .68, 600 18, 862 - .88, 202
前払費用の増減額(△は増加) 144,391 仕入債務の増減額(△は減少) 140,365 未払金の増減額(△は減少) △39,158 △ 未払消費税等の増減額(△は減少) △9,040 前受金の増減額(△は減少) △313,262 契約負債の増減額(△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	25, 123 03, 085 68, 600 18, 862 - 88, 202
仕入債務の増減額 (△は減少) 140,365 未払金の増減額 (△は減少) △39,158 未払消費税等の増減額 (△は減少) △9,040 前受金の増減額 (△は減少) △313,262 契約負債の増減額 (△は減少) 304,658 その他 22,516 小計 328,494 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	03, 085 68, 600 18, 862 - 88, 202
未払金の増減額 (△は減少) △39,158 △ 未払消費税等の増減額 (△は減少) △9,040 前受金の増減額 (△は減少) △313,262 契約負債の増減額 (△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	68, 600 18, 862 - 88, 202
未払消費税等の増減額 (△は減少) △9,040 前受金の増減額 (△は減少) △313,262 契約負債の増減額 (△は減少) 304,658 △ その他 22,516 小計 328,494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	18, 862 - .88, 202
前受金の増減額(△は減少)	- .88, 202
契約負債の増減額 (△は減少)304,658△その他22,516小計328,4942利息及び配当金の受取額4利息の支払額△401	
その他22,516小計328,4942利息及び配当金の受取額4利息の支払額△401	
小計 328, 494 2 利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	7 202
利息及び配当金の受取額 4 利息の支払額 △401	7, 203
利息の支払額 △401	79, 302
	5
	$\triangle 311$
	.95, 088
営業活動によるキャッシュ・フロー 318,835	83, 908
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出 - △	17,860
無形固定資産の取得による支出 <u>△27,211</u> <u>△</u>	17, 933
投資活動によるキャッシュ・フロー \triangle 27, 211 \triangle	35, 794
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出 △200,000	_
株式の発行による収入 69,478	-
上場関連費用の支出	
財務活動によるキャッシュ・フロー △136,605	_
現金及び現金同等物の増減額(△は減少) 155,018	48, 113
	63, 141
現金及び現金同等物の四半期末残高 1,175,722 1,5	

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効 税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期累計期間(自2022年3月1日 至2022年8月31日) 当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- II 当第2四半期累計期間(自2023年3月1日 至2023年8月31日) 当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。